

ビール・発泡酒の 酒税に関する要望書

2026年8月

ビール酒造組合

ホームページ <https://www.brewers.or.jp>

会長代表理事 時松 浩

会 員 会 社
アサヒビール株式会社
キリンビール株式会社
サッポロビール株式会社
サントリー株式会社
オリオンビール株式会社

発泡酒の税制を考える会

ホームページ <https://www.happoshu.com>

会 長 時松 浩

会 員 会 社
アサヒビール株式会社
キリンビール株式会社
サッポロビール株式会社
サントリー株式会社
オリオンビール株式会社

酒税に関する要望事項

平成 29 年度税制改正により、ビール・発泡酒・新ジャンル商品※¹の酒税率は段階的に見直され、本年 10 月に 1kℓあたり 155,000 円に統一されます。これによりビールの税率は、1kℓあたり 65,000 円の減税となる一方、発泡酒は 20,750 円、新ジャンル商品※¹は 75,000 円の増税となります。また、同じ発泡性酒類に分類される「その他の発泡性酒類※²」は、1kℓあたり 20,000 円の増税となり、100,000 円となります。

ビール・発泡酒・新ジャンル商品トータルの市場規模は直近 10 年間で 3 割近く減少し、1994 年のピーク時の約半分となっています。需要は厳しい状況が続いています。

**ビールメーカー各社は、平成 29 年度税制改正を踏まえ、
これまで中長期的な対応をすすめてまいりました。**

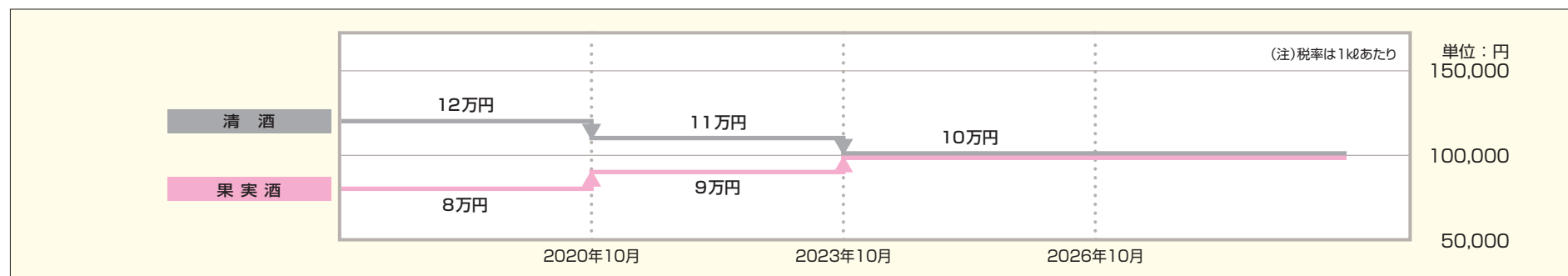
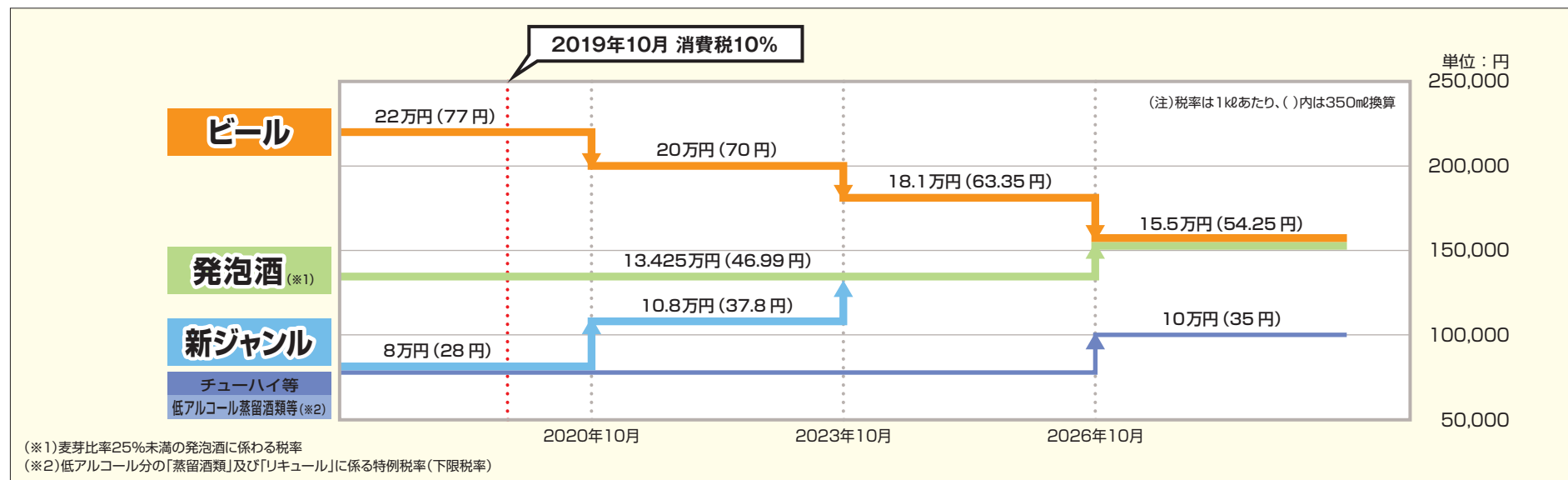
**しかしながら、本年 10 月に統一されるビール・発泡酒の税率は、
他の酒類と比べ依然として格差があり、諸外国と比べても高いと
いえます。**

私たちは、ビール・発泡酒のさらなる減税を要望します。

平成29年度 酒税改正の概要

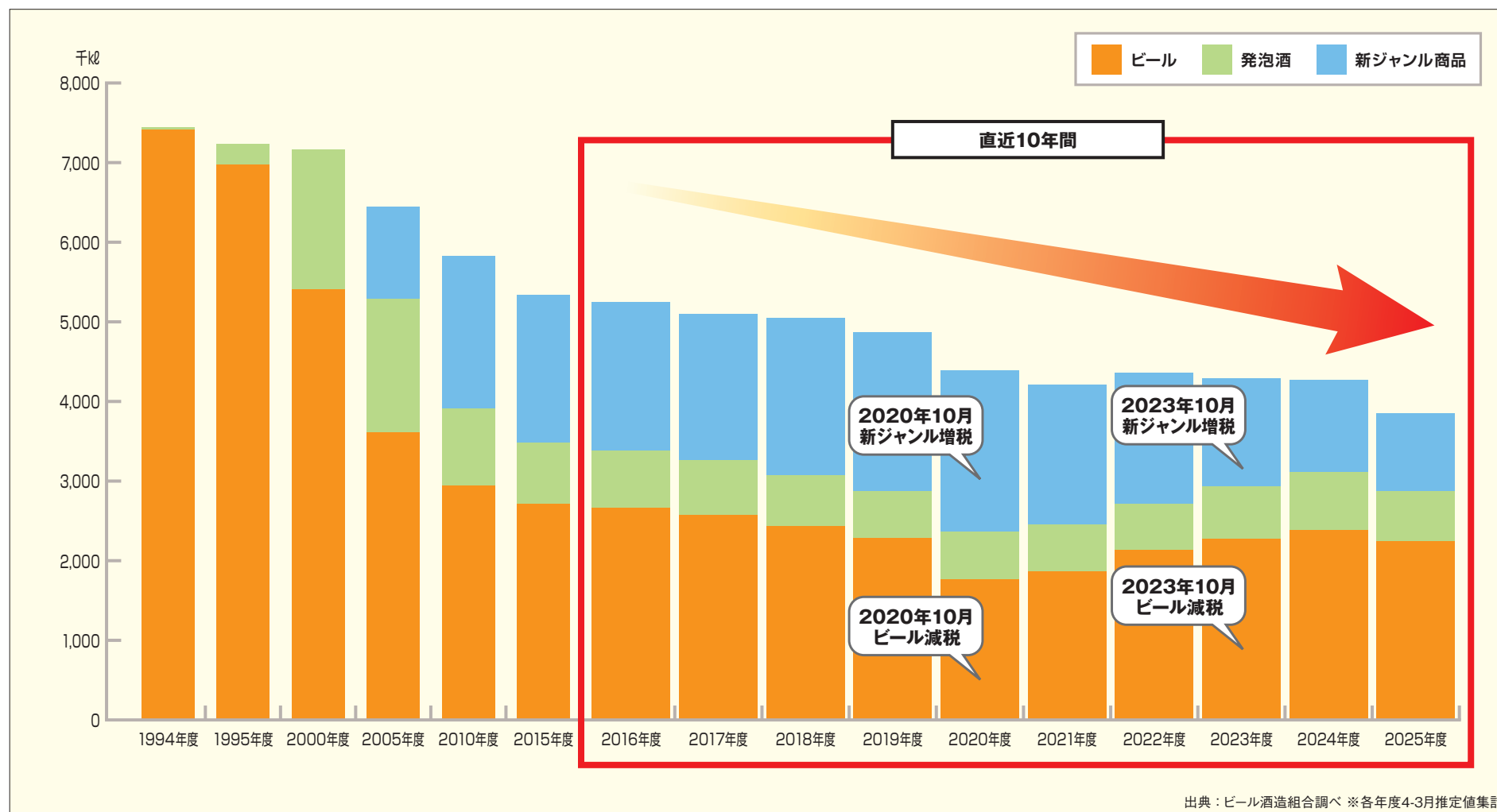
- 税率の見直しは、消費者や酒類製造者への影響に配慮して、十分な経過期間を確保しつつ段階的に進めます。
 - 今回の改革は、厳しい財政状況や財政物資としての酒類の位置付け等を踏まえ、税収中立で行います。
 - 税率の段階的な見直しは、その都度、経済状況を踏まえ、酒税の負担の変動が家計に与える影響等を勘案した上で実施します。
- 出典：パンフレット「平成29年度税制改正」平成29年4月財務省（財務省ホームページ）

税率構造の見直し



ビール・発泡酒・新ジャンル商品の市場推移

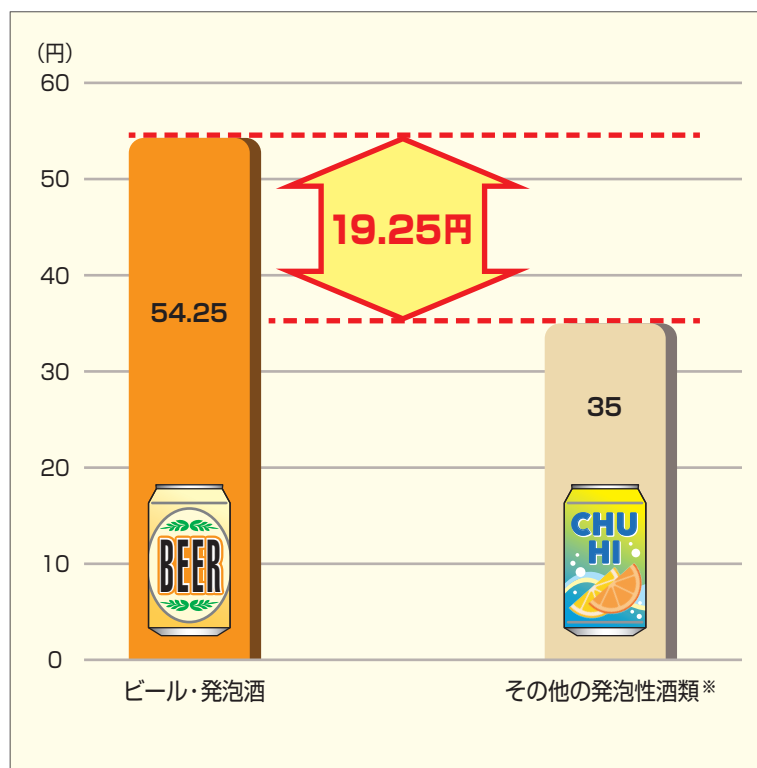
ビール・発泡酒・新ジャンル商品トータルの市場規模は直近10年間で3割近く減少し、1994年のピーク時の約半分となっています。



酒税の税率 (2026年10月以降)

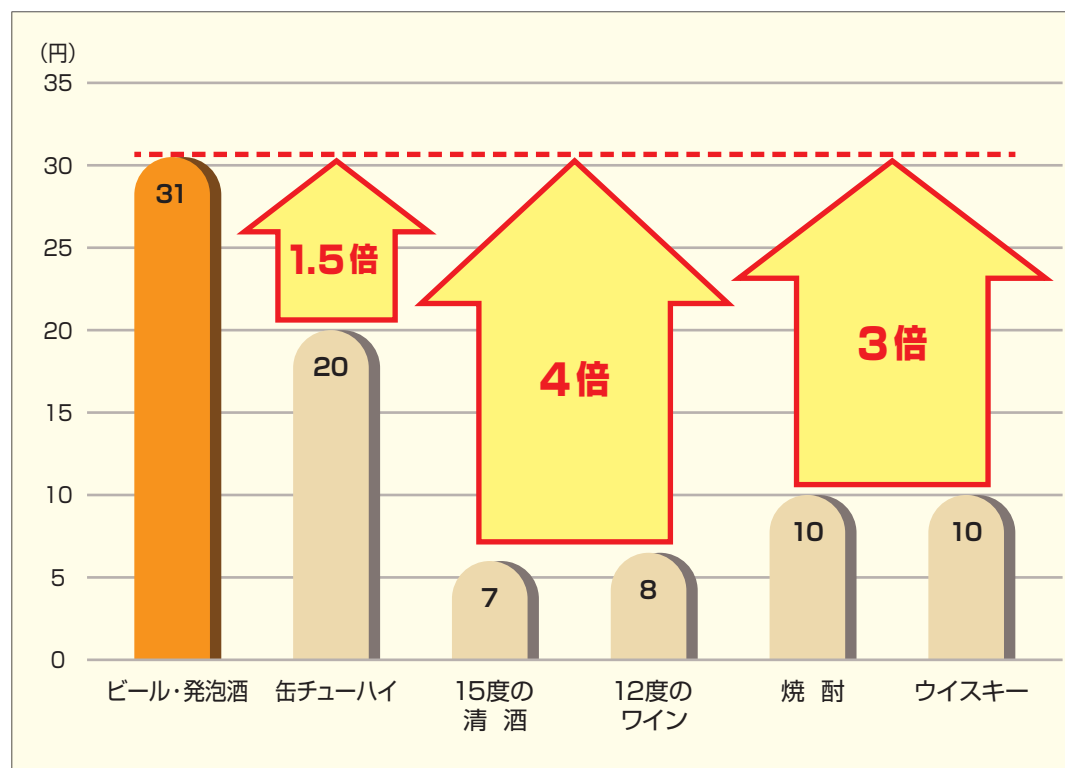
ビール・発泡酒の税率1ℓあたり155,000円を350ml缶換算でその他の発泡性酒類(缶チューハイ等)と比較すると、約20円も高くなっています。
さらに、アルコール1度1ℓあたりで比較すると、缶チューハイの約1.5倍、醸造酒類の約4倍、蒸留酒類の約3倍もの高い税率が課されています。

1缶(350ml)あたりの酒税額



※ホップ及び一定の苦味料を原料としない酒類、缶チューハイ等

1度1ℓあたりの酒税額



諸外国との酒税額比較 (日本は2026年10月以降の数値)

ビール・発泡酒の税率1ℓあたり155,000円の酒税負担は、国際的に見ても、非常に高率かつ高額で、フランスの約2倍、ドイツの約9倍、アメリカの約4倍もの負担となっています。

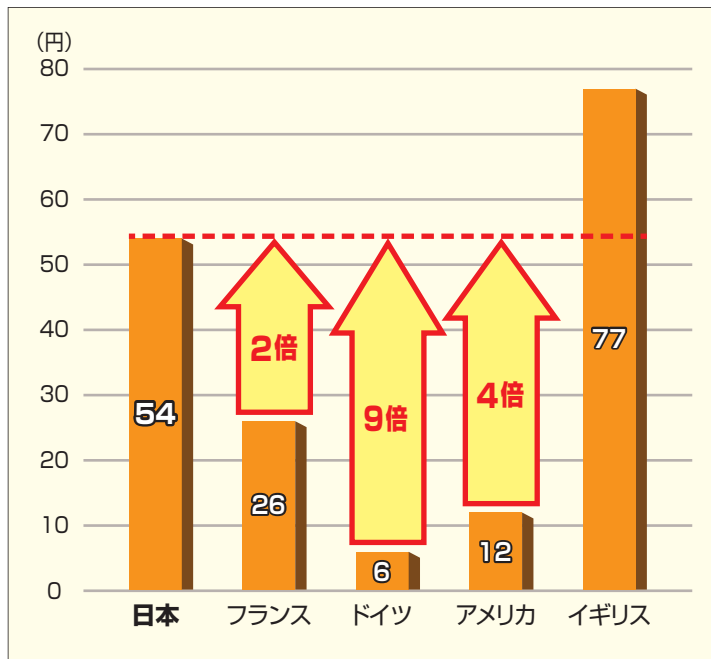
また、醸造酒であるビールに対して、アルコール分1度あたりで、蒸留酒に比べ高い酒税を課しているのは、主要諸国の中で日本だけです。

※欧米ではおおむね、蒸留酒には高い税率、醸造酒であるビールやワインには低い税率が標準となっています。

ビール・発泡酒の酒税

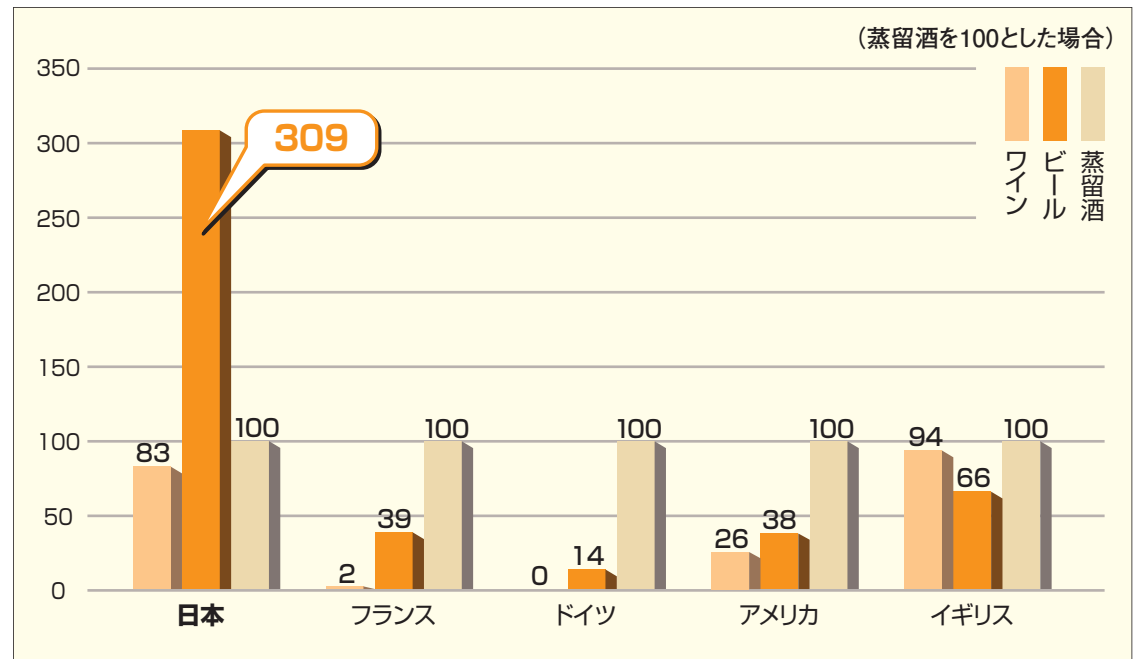
350ml缶あたりに占める酒税負担額

※各国は350ml缶あたりに換算した酒税額



ビール・ワイン・蒸留酒の酒税

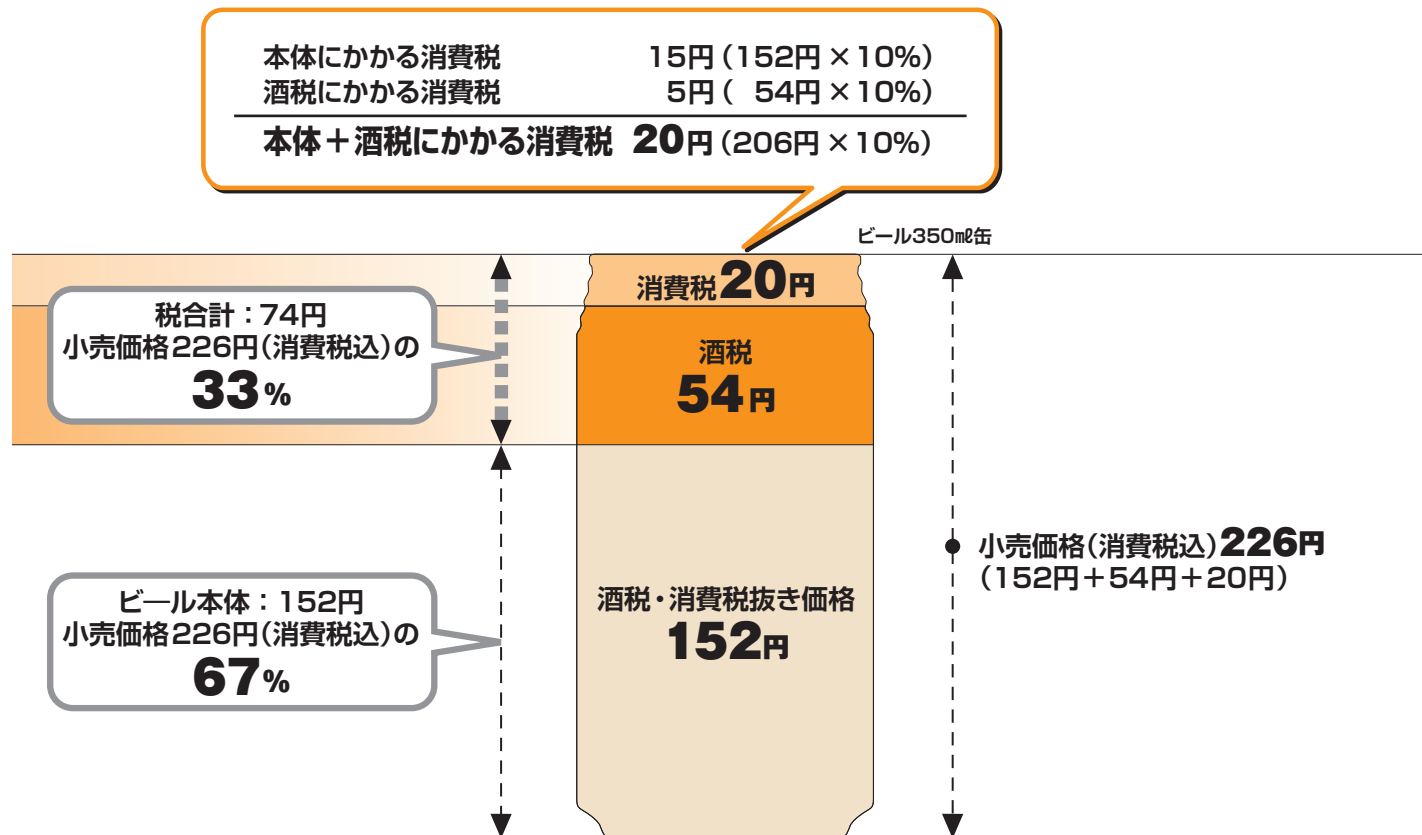
主要諸国におけるアルコール分1度あたりの酒税額指数



出典：ビール酒造組合調べ 基準外国為替相場及び裁定外国為替相場(2026年1月)適用、端数は四捨五入

小売価格に占める酒税、消費税 (2026年10月以降)

ビールでは小売価格(消費税込)の約33%が税金となっています。
酒類には酒税と消費税が併課されており、ビール350ml缶で見ると、酒税は54円、消費税は20円(内5円は酒税にかかる)となります。

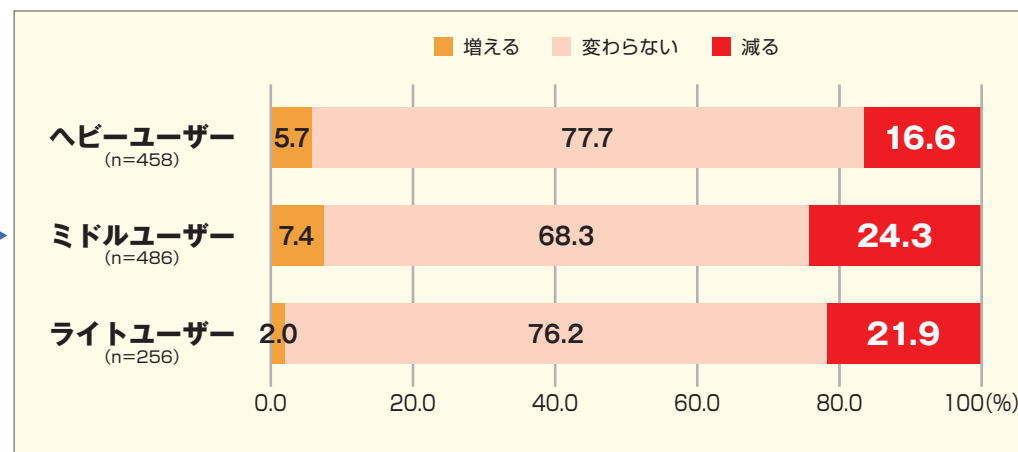
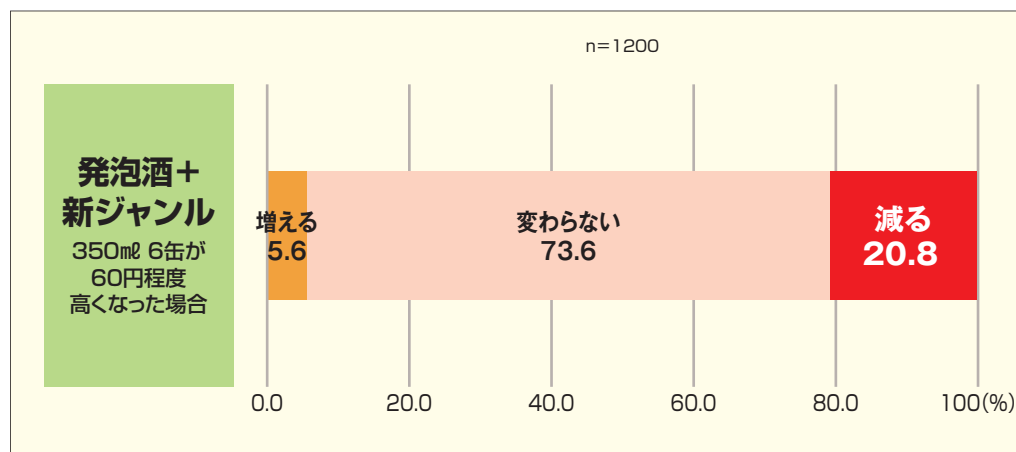
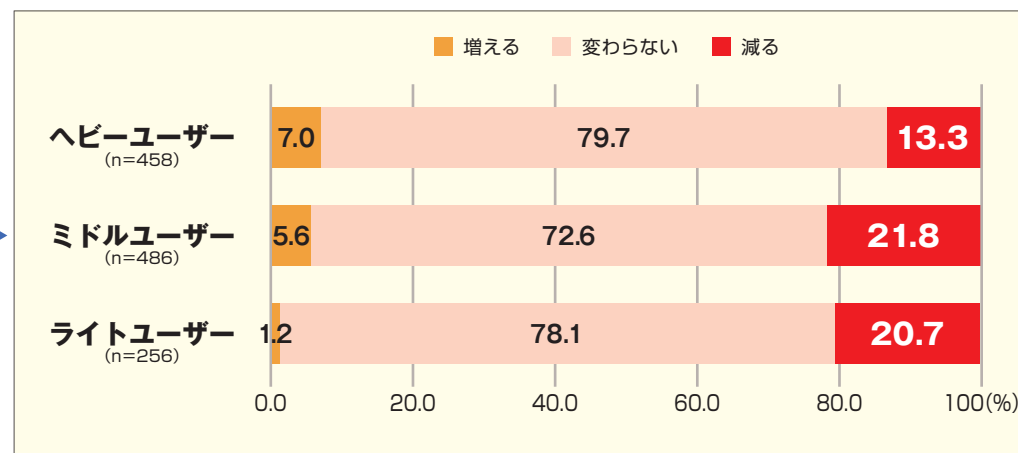
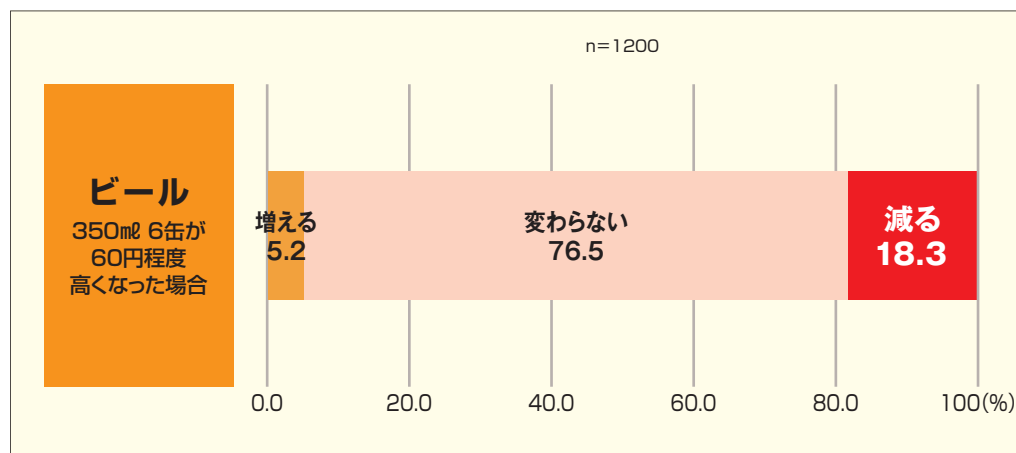


※現行のコンビニエンスストアの本体価格をベースに、新たな酒税と、消費税10%で算出
※円未満は四捨五入

消費者の皆様の声 (2026年5月ビール酒造組合実施アンケートより)

消費者はビール系飲料の販売価格の上下に対し、敏感に反応します。販売価格が高くなると、消費者の生活防衛意識が働き、消費が停滞し消費量が減少していくことが懸念されます。

Q. ビール、発泡酒・新ジャンルの価格が変わった場合、飲む量はどのように変化したいと思いますか？



消費者の皆様の声 (2026年5月ビール酒造組合実施アンケートより)

ビール系飲料の税負担率が高いと感じる消費者は約6割いらっしゃいます。

Q. 2026年には、小売価格の33%程度になると想定されるビール系飲料の税負担(酒税+消費税)についてどのように思いますか?

高い
57.2%

安い
4.7%

適正
14.5%

わからない
23.7%

(n=1200)

酒税に対する意見(抜粋)

- ✓ 既に税率が高いのでこれ以上増税するのは違う。(20代 男性)
- ✓ お酒に対する意識が変化し、飲まない人も増えている今、税金が高いとますますお酒を嗜む人が減るのではないかと思います。(20代 女性)
- ✓ ビール類にかかる酒税の高さの理由を示して欲しい。(30代 男性)
- ✓ 嗜好品ですが、生活に彩りを加えるのに必要だと思うし、国民から税金をとりすぎだと思います。国民が幸せを感じられるように、税金を下げるべきだと思います。(40代 女性)
- ✓ 庶民のわずかな楽しみに安易に課税強化をするやり方には納得できません。(40代 男性)
- ✓ 値段が上がると、お酒は止めようと思う。(60代 女性)
- ✓ 庶民の楽しみを奪わないでほしい。(70代 女性)

参考 加盟各社の代表的な製品

アサヒビール



アサヒスーパードライ
(ビール)



クリアアサヒ
(ビール)

※2026年10月より新ジャンルからビールに変更



アサヒスタイルフリー <生>
(発泡酒)

キリンビール



キリン一番搾り生ビール
(ビール)



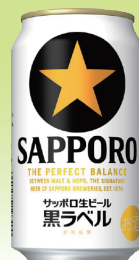
本麒麟
(ビール)

※2026年11月より新ジャンルからビールに変更

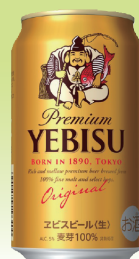


淡麗グリーンラベル
(発泡酒)

サッポロビール



サッポロ生ビール黒ラベル
(ビール)



エビスビール
(ビール)



サッポロ GOLD STAR
(ビール)

※2026年10月20日より新ジャンルからビールに変更

サントリー



ザ・プレミアム・モルツ
(ビール)



サントリー生ビール
(ビール)



金麦
(ビール)

※2026年10月より新ジャンルからビールに変更

オリオンビール



オリオン ザ・ドラフト
(ビール)



オリオン ザ・プレミアム
(ビール)



オリオン ザ・ダーク
(ビール)

ビール酒造組合

ホームページ <https://www.brewers.or.jp>

発泡酒の税制を考える会

ホームページ <https://www.happoshu.com>